



大河小だより

小川町立大河小学校
令和8年1月26日 第29号
文責 校長 宮澤 忍

～子供の豊かな成長を支え、地域とともに歩み続ける学校～

〒355-0327 比企郡小川町腰越209 Tel. 0493-72-0068

- 【学校教育目標】 ○ 自ら学ぶ子（知） ○ やさしい子（徳） ○ たくましい子（体）
【年間生活目標】 「あいさつを広げよう」 「健康な生活を心がけよう」
【1月の生活目標】 「あいてを見て あいさつをしよう」

全国学校給食週間での取組

1月24日から30日までは、全国学校給食週間です。学校給食は栄養バランスのとれた食事により、子供たちの心身の成長を支え、また「生きた教材」として、生涯にわたって健康で充実した生活を送るための自己管理能力を育てるなどの役割があります。

全国学校給食週間は、このような役割などについて理解と関心を高め、より一層の充実をはかることを目的として定められました。

本校では、1月19日から23日の期間に給食委員会が給食の時間を利用して、給食に関するクイズを全校の児童に放送で伝える取り組みを行っております。

そして、1月20日（火）に、日頃からお世話になっている学校給食センターの浅野栄養教諭と、給食が届いているかを確認して各クラスの教室前まで運んでくださる森さんに感謝の気持ちを表した手紙を渡しました。浅野さん、森さん、そして学校給食センターの皆さん、ありがとうございます。



卒業を前に心を込めての和紙漉きに行ってきました

1月14日（水）、6年生が卒業式で着用するコサージュの紙漉きに行ってきました。児童一人一人が手漉きした小川和紙は、ピンクの染料で染めたもので、もみ加工して届けられ、6年生の授業参観で親子が一緒になって「和紙コサージュ」作りに取り組みます。

小学校の卒業式で手作りの「和紙コサージュ」が使われるようになったのは2017年の卒業式からで、大河小学校が最初でした。これからも大切に受け継いでいきたいと思えます。



1年生が昔遊びで凧(たこ)揚げをしました

生活科「むかしから つたわる あそびを たのしもう」で1年生が凧(たこ)に好きな絵を描いて、オリジナル凧を作りました。できたての凧を持って校庭に出て、さっそく揚げてみました。「もっと糸を長くすると、凧がもっと高く揚がるよ。」「〇〇さんの凧、すごく上手に揚がった！」お友達の様子を見てアドバイスしたり、良いところを見つけたりしながら学習することができました。



体験学習や地域の伝統行事で育つ子供

1月18日(日)に、埼玉県指定無形民俗文化財「菟日吉神社のやぶさめ」が行われました。この日は、早朝に明覚郷と大河郷の神馬と関係者がそれぞれ地元を出発。この出発するところを見学させていただきました。早朝にもかかわらず大河小学校の児童が見に来てくれました。

以下の文章は「小川町ホームページ 生涯学習課 → 歴史・文化財 → 文化財」から引用させていただきました。【引用させていただいた文章は、字体が変わっている部分です】

ときがわ町西平地内の菟日吉神社において、ときがわ町明覚郷と小川町大河郷がそれぞれ馬を出し流鏝馬を奉納する神事で、現在は3年に一度行われています。

流鏝馬が行われる当日、大河郷は早朝より当番家から出陣し、大河橋の下より日吉山王宮に向かい数十本の矢を放ち、あわせて道中にて氏神などの神様にむけヒキメの神事を行いながら、松郷峠を越え菟日吉神社に向かいます。午前10時ごろに神馬が走る朝まとう、午後3時ごろに馬上よりの射る夕まとうが行われます。

このやぶさめ行事は、昭和33年(1958)に県の選択無形民俗文化財に、平成17年(2005)に県指定無形民俗文化財に指定され、現在は3年に一度開催されています。

これ以外の伝統行事としては、大河地区をはじめ各地区において、様々な催し物を行っています。例えば、毎年7月に腰越地区では八坂神社の夏祭りが行われ、子供たちが神輿(みこし)を担いで地域を回っています。また、夏休みは、大河地区の中には地域の方のご協力をいただき、子供たちが参加するラジオ体操を行っているところもあります。

ある地域の取り組みの中でお聞きしたことは、「子供の数が少なくなる中、小学生の子供がたくさん参加してくれてとてもうれしい」といった声を聞きました。小学生の時期から行事に参加し、地域の方々と顔の見える関係を築いていき、将来地域の担い手として育ててくれればうれしいです。



菟日吉神社に出発するときの風景



大河郷4氏による弓矢での四方固め



7月の夏祭りで子供たちが神輿を担っている様子

3年生が社会科見学に行きました

1月16日(金)に3年生は、社会科学習の一環として、小川消防署と小川警察署の見学に行きました。これは、安全な暮らしを支えるためのしくみや、そこで働く人々の工夫や努力を知ることが目的としております。

小川消防署では、施設の見学や車庫の消防車や特殊車両の装備などを見せていただきました。また、小川警察署では、交通事故に遭わないために守ってほしいことのお話や、警察の制服を着る体験と、実際にパトカーに乗る体験をさせていただきました。この見学を通して、安全な暮らしを支えるためにそこで働く人々の工夫や努力があることを改めて知ることができました。

